

2019年5月9日

渋谷のまちを舞台に、新感覚のAR謎解きストリートアート展を実施

5月16日～6月15日、アート展示企画「SHIBUYA STREET GALLERY」 × AR 謎解き「渋谷パラレルパラドックス」を同時開催します

東京急行電鉄株式会社

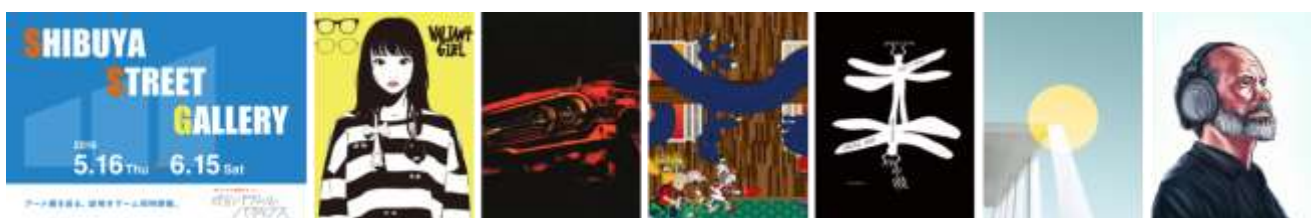
当社は、2018年7月から開始した落書きなどに悩む未活用壁面を活用した街メディア事業「ROADCAST(以下、本事業)」のテストマーケティングの1つとして、渋谷の街中にアート作品を展示する企画「SHIBUYA STREET GALLERY」およびこれに絡めたAR 謎解き「渋谷パラレルパラドックス(以下、本イベント)」を5月16日(木)～6月15日(土)の期間、実施します。

本事業は、渋谷エリアに点在する住居や店舗などの未活用壁面を当社が一括して借用し、それらを同時展開することで街を丸ごとメディア化し、プロモーションやアート作品展示などを行う事業で、2019年7月の本運用開始に向けてこれまでに9件のテストマーケティングを実施し、借用する壁面は約80カ所に増加しています。

本イベントは、若手アーティスト支援企画の一環で、国内最大級のアートコミュニティを運営する株式会社 ShareArt、AR 技術を応用した体験型エンタテインメントの開発・運営を行う株式会社 ENDROLL、リアル謎解きゲームを中心とした体験型ゲームの制作・プロデュースを行う株式会社ハレガケの3社と協業し、本事業が2019年の活躍を期待している注目アーティスト15名の参加のもと、AR 技術を活用した謎解きゲームとストリートアート展を組み合わせるといふ新感覚のエンタテインメントを創り出します。街中でアートに触れつつ、謎解きを目指すという、ストリートカルチャーが根付く渋谷ならではの新たなエンタテインメントの発信により、渋谷への来街促進および回遊促進を目指します。

なお、AR 謎解きゲームのキットはSHIBUYA TSUTAYA6階で、展示作品の関連グッズは7階の特設コーナーで購入ができるほか、東急線渋谷駅などにて本イベントの展示マップを配布します。

当社は、今後も本イベントのような企画を通じて、渋谷の情報発信力を高め、いつ訪れても旬な情報に出会えるような、「渋谷ならではの」体験ができる街にすることで、「エンタテインメントシティ SHIBUYA」の実現を目指します。本イベントの詳細は別紙の通りです。



▲本イベントポスター(左)・展示アート作品例6点

以上

【別紙】

<イベント概要>

- 主催 ROADCAST(東京急行電鉄株式会社)
- 特別協力 株式会社 ShareArt、
株式会社 ENDROLL、株式会社ハレガケ
- 協力 SHIBUYA TSUTAYA、Q FRONT ほか
- 実施時期 2019年5月16日(木)
～2019年6月15日(土)
- 展開場所 渋谷駅周辺で21作品の展示ほか
約50カ所でマップ掲出
- 謎解きゲームへの参加方法



▲謎解きキットイメージ

- ①参加キットの購入・専用アプリ(iOSのみ対応)のダウンロード

販売場所: SHIBUYA TSUTAYA6階の特設コーナー(販売時間10:00～26:00)

購入価格: 税込1,980円(予定)

※専用アプリは、キットの裏面に記載のQRコードからダウンロードが可能です。

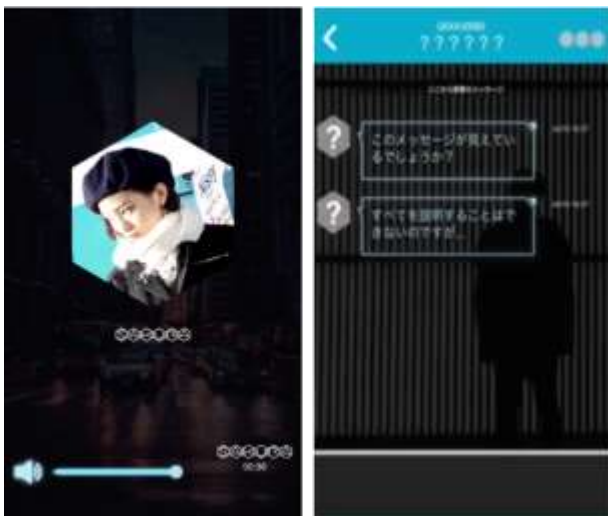
- ②専用アプリのチャット上で出される指示に従って謎を解く

(あらすじ)

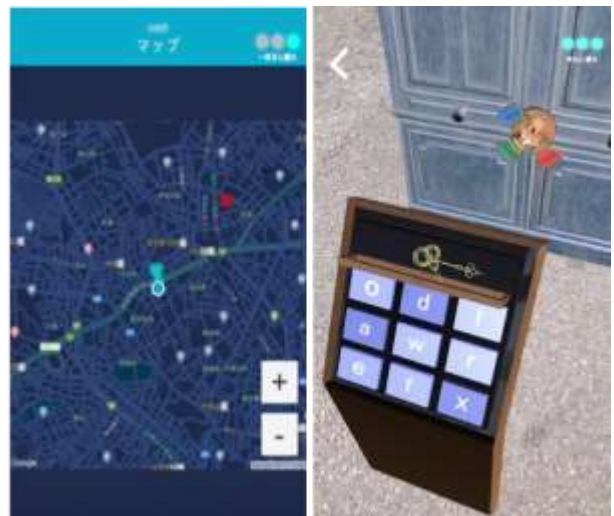
渋谷で開催中のアート展「渋谷ストリートギャラリー」の参加アーティストの一人「さくら」の作品が盗まれた…そのニュースの直後、何者かに狙われている見知らぬ女性から着信が入る。彼女を救うためには、謎を解いて過去を変えるしかない。『——過去を変えますか？——YES or NO』

(謎解きの流れ)

展示作品の一部がARマーカ―となっているポスターが複数箇所掲出されており、謎解きキットと専用アプリのマップをもとにそれらを探します。専用アプリのARカメラ機能を活用してスマートフォンをかざすと、謎解きを行う部屋が出現し、制限時間内に部屋に隠された謎を解くことで、次への手がかりを手に入れることができます。渋谷のまちを回遊しながら謎解きを行い、最後の答えを入力したらクリアとなります。



▲専用アプリのチャット画面イメージ



▲謎解きの部屋画面イメージ